

## savapi4 へのアップグレード手順(Linux 版)

株式会社プロマーク技術部

日頃は、ProScan for Mailserver のご利用誠にありがとうございます。この度、ウイルススキャンエンジンであります、ドイツ Avira 社の SAVAPI が 4.10 へのアップグレード致しました。SAVAPI4.10 へのアップグレードは、日々のアップデートでは行われず、手動による作業が必要となります。

プロマークではツールを提供し、より簡単にアップグレード可能となっておりますので、以下手順に従い実施してください。なお、作業時間はダウンロードも含めて、環境にも寄りますが数分で完了します。但し、その間 savapi が停止しますのでスキャンができなくなるため、メールの配送が止まりますので、ご注意ください。

### 1. 事前準備

アップグレードはスクリプトにより自動的に実施されますが、実施前に以下の作業をお願いいたします。

#### 【すべてのお客様】

/opt/proscan/bin/proscanup -V の実行を行い VDF のアップデートを実施しておいてください。

アップグレード時に旧環境をバックアップしますが、最新環境をバックアップするためです。異常があった場合に切戻す必要がございますが、その際に最新環境に戻ります。

#### 【Postfix 版でご利用のお客様】

以下の 2 つの確認をお願い致します。もし異なっている場合には設定変更をお願いいたします。

- ・ /usr/lib/AntiVir 環境のオーナー (すべてのファイルのオーナーが filter となっているか)

```
# ls -l /usr/lib/AntiVir
```

- ・ /opt/proscan/contrib/proscanupdate.sh の確認

```
(20 行目) PROSCANUPDATE="${BINDIR}/bin/proscanup -V " となっているか
```

修正後はアップデートならびにメールの送受信を確認してください。

### 2. アップグレードツールダウンロード

以下の URL よりツールをダウンロードします。

[http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade\\_linux.sh](http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade_linux.sh)

ダウンロードしたファイルは、アップグレードを行うサーバ上に適当なディレクトリを作ってそこに置いて下さい。(例として、/tmp/savapi4 というディレクトリでの作業とします)

```
# cd /tmp
# mkdir savapi4
# cd savapi4
# wget http://update.promark-inc.com/savapi4/upgrade\_linux.sh
# ls
upgrade_linux.sh
```

※Proxy 利用環境では、ダウンロードしたスクリプトの 28 行目から 33 行目の Proxy 設定を行ってから実行するようにしてください。現状はコメントとなっておりますので、設定後、コメントを外してから実施をお願いします。Proxy 認証を利用していない場合には PROXY\_USER, PROXY\_PASSWD はコメントのままとしてください。(/etc/wgetrc に設定している場合には自動で Proxy 設定されます。)

### 3. ツールの実行

ファイルをダウンロードしたディレクトリへ移動し、ツールの実行を行います。ツールが環境変更をすべて自動で行います。そのため、一度、実行すると後は何もすることがありません。(エラーが発生した場合は切戻すか、エラーを取り除き再実行します。)

```
# cd /tmp/savapi4
# sh upgrade_linux.sh
:
:(実行中のメッセージが表示されます)
:
#
```

最新のバージョンまでアップデートされ、savapi の再起動も行われます。

以下のコマンドで SAVAPI service バージョンが 4.X.X.X になっていることを確認してください。

```
# /usr/lib/AntiVir/savapi -V
Product build:      Linux (x86_64, glibc 2.4)※
SAVAPI service version: 4.10.0.280

Component versions:
SAVAPI library version: 4.10.0.280
Engine version:      8.3.52.96
Packlib version:     8.4.3.10
VDF version:         8.15.11.30
APC library version: 2.10.0.82
```

以上で完了です。

※32bit 環境では、i386 glibc2.2 版となります。

### 4. アップグレードでエラーが発生した場合

アップグレードスクリプトの実行中に何らかのエラーが発生した場合、`upgrade.sh` が自動的に作成した `uninstall.sh` を実行することで元の状態に戻ります。エラーの内容を弊社サポートまでお知らせください。

```
# pwd
/tmp/savapi4
# ls
uninstall.sh  upgrade_linux.sh
# sh uninstall.sh
ProScan was stoped
ProScan was started
#
```

### 5. SAVAPI4 のアップデート内容

savapi のバージョンが 4.10 となりました。主なアップデート内容を以下にお知らせします。

- ・ 64bit ネイティブ対応 (glibc2.4 未満の場合には今まで通り 32bit 版となります。)
- ・ savapi の起動時間の短縮
- ・ VDF の細分化 (256 個のファイルになり、アップデート時の転送量が減ります)
- ・ VDF のアップデート先の変更 (Avira 社サイトに変更となります。ProScan 本体は従来通り弊社のままです。)
- ・ その他、細かいバグ Fix

## 6. アップデート時の注意事項

アップデート時は、一旦 savapi の停止を行いますのでその間のメールは一時エラーとして処理されます。エラー処理を行っていないメール送信（MTA の場合は送信キューに戻るだけです）ので再送処理を必ず行いますが、ツール等が直接 MTA へメールを送信している場合にはこの限りではないと思います。）は注意が必要です。可能であれば、メール送信が少ない時間帯を選んでアップグレードを行ってください。

アップグレードは、ファイルのダウンロード→savapi 停止→設定書換え→展開→アップグレード→savapi 起動→完了、という流れになります。savapi の停止時間は約 1 分ほどですがファイルのダウンロードは約 70MB ほどの大きさがあるため多少時間がかかります。ただ、その間は通常通り動作しておりますのでメール配送が止まるということはありません。

また、標準的なインストールを行っていない場合は、アップグレードに失敗する場合（エラーとならなくても設定の問題等で再起動がうまくいかない場合等）がございますので、不安がある場合には弊社サポートまでお問い合わせください。

以上